

令和4年度 平岡調理・製菓専門学校 自己評価表			5…完璧 4…かなり進んでいる 3…普通 2…やや足りない 1…ほとんど進んでいない 0…該当しない			学校関係者評価	
評価項目			自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
教育理念・目的・人材育成像	①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5	社会の即戦力たる、調理師、製菓衛生師育成を行うことを明示している	特になし	5	特に問題はない。
	②	学校の理念・目的・育成人材像について、学生、保護者、学校関係者へ周知されているか	5	本校要覧、ホームページ、SNS公式アカウントなどを通じて、適時、本校の理念、目的、育成を目指す人材像を発信している。定期的なオープンキャンパス、ガイダンス参加や、高校訪問を通じ、本学への理解を学校関係者に周知している。本年から、SNSの短時間動画を介して、本学の教育内容を高校生以下の若年層にも周知するなど、時代とニーズに合わせた周知を実施している。	今後も、様々な媒体を利用したような年齢層の学生、保護者、学校関係者への周知を模索する。	4	活字媒体離れが著しい、若年層への訴求を今後も強化、検討していただきたい。
	③	学校の理念・目的・育成人材像は社会のニーズに適合しているか？	4	年3回から5回実施している、学外実習（インターン）を通じ、定期的な、調理・製菓業界との情報交換を行い、本学が目指す人材育成が専門業界に求められていることを確認している	昨年に続き、コロナ禍の影響で現場の実務担当者が繁忙で科目編纂会議の対応が出来ていない。今後の課題	5	今後も継続されたい。
学校運営	①	目的に沿った学校運営がなされているか	5	即戦力の育成に必須の設備投資を定期的実施しており、設備を活用した実践的なカリキュラム構成を行っている。本年は、調理製菓業に必須の体力涵養を目的とした体育館や運動場施設の補修改装を実施して、より生徒が良好な環境で学習できるようにした。加えて、人間性・社会性の涵養を目的に学校行事も盛んに実施している。	2年以内に償却を迎える授業用電子設備関連の更新を計画する必要がある。	5	老朽化した設備に、減価償却相応の補修を常に実施していく姿勢は大変素晴らしい。
	②	学校運営は、校則等に定める組織において、適正に運営されているか	5	理事会・評議員会の意思決定を基に、適正な組織運営を実施している。私学法改正に向け、評議員会の機能強化を踏まえた、適切な校内組織運営を模索している。	改正私学法の内容を踏まえた校内組織の点検改正	5	改正私学法に適応したガバナンス強化を求めます。
	③	就労・人事・給与に関する規定は整備されているか	5	問題なく整備、教員室内に公示している。加えて、弁護士、司法書士、公認会計士、社会保険労務士を顧問として設置している。	特になし	4	一部退職職員による競業禁止違反が生じている。就業規則の表現をよりわかりやすく見直すなどがガバナンス強化を求めたい。
	④	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	学生に対して、定期的に周辺住民への迷惑行為の禁止指導、SNSなどでのモラル順守、インターンの際の社会人としてのルール順守を指導している。加えて、学生懲罰規定を定め、明確に違反行為を定めている。教員に対しても、守秘義務、ハラスメント行為の禁止などを、就労規則に明示し、新人研修やOJTを通じて継続的に指導し、昨年度は同種のトラブルの根絶に成功している。	遺憾ながら、競業禁止違反が発生したため、職員へのコンプライアンス教育を強化する。	3	教職員のモラル向上のため、コンプライアンス教育を徹底されたい
	⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	掲示板での公示に加え、ホームページ上での情報公開を行っている。	公開内容を整理して、より見やすくわかりやすくしていきたい。	5	問題はない。
	⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	Salesforceを導入し、企業、高校、学生、卒業生情報を一括管理している。Felica内蔵型の学生証を導入し、タッチ式で出席を取れるようにシステム改修を進めるなど、適時最新機材やシステムを導入して、業務効率を向上させている。	校内教員業務のオンライン化を推進し、ペーパーレスを目指す。	5	出欠は、非常勤講師としての立場からも毎回煩雑であるので、このようなシステムが導入されることで、大幅な負担緩和となる。
教育活動	①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	調理師、製菓衛生師資格の取得に必要な必修科目を法規定時間を遵守して設定している。そのうえで、即戦力育成に必要な科目については法規定よりも履修時間を確保し、内容についても独自のものを実施している。職業実践専門課程については、調理製菓の実務者の間でも認知度がゼロに等しく、実効性が薄く、学生へのメリットが無いと判断している。	今後も時代に合わせて科目編纂を検討していく	3	より現場のニーズに即したカリキュラムとするため、委員会を設置して、職業実践専門課程への指定を申請することが望ましい。
	②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	学習時間の確保と並行して、学期末に実施する筆記、実技試験で目標とする水準への学力、技術到達を確認している。調理師科では、全国調理師養成施設協会が設定した、技術審査制度、実技検定制度を全面導入し、それぞれ全学生が学年相応の検定をクリアすることで全体の知識、技術水準を担保できている。また、製菓衛生師科においては、製菓衛生師国家試験の合格率向上を介して、全体の到達レベルを担保している。	製菓衛生師国家試験の受験者合格率を100%に到達させる。	4	現行受験者90%前後で推移している製菓衛生師国家試験合格率を向上させることで、学習レベルの向上が図れるので、今後も改善されたい。
	③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	調理師法、製菓衛生師法に定める、資格取得に必要な科目要件を充足しつつ、即戦力育成に必要な技術知識を身に付けられるよう、科目編纂を実施している	特になし	5	問題はない。
	④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	独自科目の就職対策で、専門業界の実態と、キャリアアップ、社会人としてのスキルを指導している。加えて専門技術習得のための師範、実習授業には現役の職業人を招聘し、実践的な職業知識の教授を行っている。そのほか、スーツ業者を呼んでの着こなし講習など、社会人としての常識を教える、実践的な講座も実施している。	特になし	5	問題はない。
	⑤	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	現状、学外実習を通じた現場との意見交換や、現役で専門業界で活躍する非常勤講師の招聘・意見回収、地元業界団体合への参加を通じたヒアリングに留まっている。	コロナ後を見据え、業界との連携強化を推進する。	4	3年にわたるコロナ禍の影響の中、現場巡回などを通じしっかり実情をヒアリングされていると感じた。

評価項目		自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要	
	⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	5	学外実習（教育実習）と学則に明示して実施している。年1～2回を必修とし、追加で春季、夏季、冬季休暇を利用して、学校斡旋の下、インターンができるよう整備している。インターン先も、全学生に希望調査を行い、全国各地、いずれの専門店、ホテルについても斡旋を行っている。	特になし	5	全学生に自由に希望を取って、全国各地の現場へインターンを一から依頼する試みは、教職員に大変な負担を強いている。それだけの犠牲を払って学生全員の各自に合わせた教育を行っていることを高く評価したい。
	⑨	授業評価の実施・評価体制はあるか	5	前期と後期のタイミングで生徒への科目評価アンケートを実施している。アンケートはオンライン化しデータ分析を容易化している。	特になし	5	アンケート内容を現場にフィードバックできていることが過去の報告からも明らかで評価できます。
	⑩	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	0	コロナ禍の影響で、導入検討自体が停止している。	特になし	0	第三者評価を将来的に導入することが望ましい。
	⑪	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5	卒業時の国家資格取得、あるいは受験資格取得を充足するよう、法規定に沿って出席状況、試験得点での評価基準を定めている。評価基準は学生要覧に明記し、学生に対して公示している。	GAP制度の導入が望ましいが、コロナ対応などの業務量増加で見送り。	3	折角100点満点を基準とした客観的な成績評価を実施しているのだから、成績証明書の表示形式を、GAPと互換性のあるものに改定し、国際的に通用するものにするべき。
	⑫	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	卒業時または進級時に国家試験の受験資格が付与される。製菓衛生師科について、国家試験対策を特別科目として設定している。加えて学内で模擬試験も実施し、成績不良者は、長期休暇時に補習授業を実施している。加えて、調理、製菓共に行政への資格申請のやり方を教育している。	特になし	5	資格を有しているも、申請を忘れてしまっているケースが多いようなので、今後も学生への教育をお願いしたい。
	⑬	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	指定調理師養成施設、製菓衛生師養成施設として、資格取得に必須の科目を指導可能な教員を確保している。そのうえで豊富な現場経験を有した人材を教員として継続的に採用しており、調理・製菓の現場との温度差が無いよう腐心している。	特になし	5	十分な数の常勤教職員を有してうえで、教育内容の多様化を図るために非常勤講師も招聘するなど、非常に充実している。
	⑭	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか	5	調理製菓の業界における、トップランナーを特別講師として招聘し、授業を実施している。	今後も継続して人材確保や発掘に努める。	5	関東や関西のトップランナーを招聘した授業も実施しており、今後も継続されたい。
	⑮	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	5	校内において、教員研修会を開き、スクールポリシーの共有、緊急時対応の講習、専門知識技術の向上を行っている。今年はQC活動を経て、姉妹校と共同で問題解決能力の向上を目的とした研修会を実施した。また、教員の技術向上を目的として、各種コンクールへの出場を奨励しており、未だ実績は出ていないものの、チャレンジした教員の資質は確実に向上している。	今後も継続したい。	5	各種取り組みを継続し、常に向上に努められたい。
	⑯	職員の能力開発のための研修等が行われているか	5	業務ノートを通じて、業務能力の向上指導を上長より実施している。加えて高度な専門性を要する、実習・師範授業については、授業計画書、報告書を毎回作成し、その内容を上長が確認して指導、日々継続的な技術・知識の向上を図っている。	特になし	5	特に問題はない。
学習成果	①	就職率の向上が図られているか	5	卒業見込みの希望者就職率100%を達成している。	特になし	4	就職を希望しない生徒が少しずつ増加していることが気にかかる。親を通じた三者面談でも効果が薄い、あるいは親自体が非協力的な家庭が増えてきているので、これらの家庭に対してより効果的な対策を検討していただきたい。
	②	資格取得率の向上が図られているか	4	調理師科は卒業時に調理師資格、製菓衛生師科は、製菓衛生師国家試験の受験資格を自動的に付与されている。製菓衛生師専修科については、受験者合格100%を目指し、指導を継続する。	製菓衛生師専修科の受験率向上が課題。面倒だと受験を拒否する者があるため、資格取得の重要性を教育していく。	4	問題はない。
	③	退学率の低減が図られているか	5	退学率5%未満を目標に、担任を中心として指導体制を確立。毎日行う職員会議で学生の問題行動について教員間で情報や指導方針を共有している。特に無断欠席から不登校につながるケースが多いので、徹底した出欠管理を実施。具体的には、欠席した生徒への担任からの口頭指導に始まり、一定数を超えて欠席した科目が生じた場合、保護者への通知はがき、さらにそれ以降も欠席する場合は保護者を交えた担任との3者面談を全員に実施している。さらには、各期末に家庭連絡票を全保護者に送付し、生徒の出欠状況、生活態度についての担任の見解を確認できるようにし、学校と家庭の連携による生徒指導体制を確立している	新就学支援制度の利用者が増加。学資金での支援は安定し、退学者減につながっている	4	現状退学率5%未満の目標が達成できていないが、理由に注目すると、学費の問題が大きい。今後も行政サイドに実情を伝え、貧困家庭への支援や、時折発生する親権者の奨学金使い込み問題への対応を陳情されたい。
	④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	学外実習の際に、職員で事業所訪問を実施し、卒業生の勤務状況について確認を行っている。また毎年、近況確認のはがきを卒業生に送付し、現状の把握に努めている。優秀な卒業生については、要覧で紹介を行い、専門職を志向する人たちの参考としている。入手した情報は、Salesforceへ入力し、全職員が把握、共有可能な環境を構築し、広報職員を介して、卒業生の出身高校へも活躍を報告している。	SNSを活用した、卒業生情報の把握を強化中である。	4	卒業生として、同窓会、豊味会の活動を盛り立てていきたい
	⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	活躍する卒業生を、学内就職ガイダンスや、授業に招聘し、専門職を志向する生徒たちのモデルケースとしている。加えて、現場教育に必要な情報・経験を聞き取り、カリキュラム改善につなげている。	コロナ禍でキャリア形成の効果把握が遅れている。	4	協力できることは是非協力させてもらいたい。

評価項目		自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	就職課を設立し、専任職員を配置して、求人受付、就職事務、企業対応、新規求人開拓など、学生の就職活動のサポートを通年で実施している。また、担任教員を通じ、毎朝のSHRで求人情報を告知するとともに、学内に就職掲示板を設置し、求人票はもちろん、就職の参考資料を掲示している。図書室には、専任の司書の管理の元、各企業のパンフレットを収蔵し、就職活動の報告書も整備、加えて調理製菓の業界情報誌を多数定期購読し、学生が自由に利用できるインターネット環境も完備して、最新情報の収集が容易な環境を整備している。	特になし	5	問題はない。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4	40人学級に1名担任を置き、毎日始業前にSHRを実施して学生生活のサポートを実施している。定期的な学生面談を担当、就職課職員を交えて実施し、学生生活で困ったことがないか、相談に応じている。本学の地理的問題もあって、スクールカウンセラーに適任の人材確保が難航している現状。	メンタルヘルスに通じたスクールカウンセラーの設置を検討	4	精神的に幼い若者が増えている。社会人としての意識付けと並行して手厚いメンタルケアが重要。
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5	教務課を設置し、専任事務員に各種奨学金事務を担当させている。加えて学資困難な学生への対応を、経理課中心に実施し、学費の支払い等の相談に応じている。奨学金等は、一部学生の学資を他の学生の負担に転嫁する形になってしまいうため、採用はしない。就学支援の新制度を導入し、利用者も増加している。	特になし。	4	学校独自の奨学金に対する考え方は理解できる。
	④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	地域の医院が減少する中、近隣の内科医を校医に任命し、市内の中核病院と連携して健康管理を実施している。	最寄りの整形外科医院が廃業。緊急対応を地域の中核病院へ委託。	3	学校としての努力は評価する。地元医師会との連携も検討するべき。
	⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	5	部活動や技術コンクールについて、人間性や技術向上に資することから、人的、物的、両面から支援を実施している。その結果、部活動においては、専門学校各種学校協会実施の体育大会で優秀な成績を修めている。特に、コンクールにおいては、調理師養成施設技術コンクール全国大会において、平成29年、31年の2度にわたり、全国制覇を成し遂げた。製菓衛生師養成施設技術コンクールにおいても、平成31年に全国3位、令和2年には自由課題部門で全国制覇を成し遂げ、ジャパンケーキショー東京では令和元年に銀賞、銅賞を獲得した。調理・製菓とともに、全国トップクラスの成績を修め続けている。令和3年度についても、コロナの影響こそあるが、5月のマジパンコンテストで、学生部門を独占し、10月のジャパンケーキショーでは5名入賞、2月のグルメリックでは農林水産大臣賞を獲得した。令和4年度についても、調理製菓共に優秀な成績を修め、2月のグルメリックでは観光庁長官賞を獲得した。	今後も、良き伝統として継続していく。	5	全国有数の素晴らしい成績を、専門分野のコンクールで修めていることは、学校の優れたサポート体制の賜物である。今後も活躍を期待する。
	⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	5	学生の住環境整備のため、1 2 の直営寮を整備している。建物の構造も、いずれも鉄筋、鉄骨コンクリート造で、高い耐震性、耐火性を有する。セキュリティ面もオートロック完備で、監視カメラも有し、防犯面も万全に整備している。ニーズに合わせ、一人部屋、多人数部屋を選べるようにしており、家具家電も完備して、近隣のアパート、マンションを上回る住宅設備に低廉な寮費で居住できるよう整備している。今年から実情に即して寮門限の緩和を実施し、より就労学生のニーズに対応できる体制とした。	旧式化した寮設備が生じた場合は、更新を進め、より充実した環境整備を行っていく。	5	毎年、学生寮運営の取り組みについて、説明を聞き、ここまで細かく先生方が対応しているのかと感心します。
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	5	毎日の職員会議で問題行動が報告された生徒について、適時担任より保護者へ電話連絡を実施している。加えて期末には担任より、出席状況や生活態度についてコメントを添えた家庭連絡票を生徒全員に作成して送付している。その上、出席指導はがきを家庭に送付したり、担任との3者面談も実施、家庭との密接な連携を通じて教育目標の達成を図っている。	放任主義的な考え方の家庭も増加し、学校から保護者への連絡を拒否するケースも増加している。より効果的な取り組みを検討していく。	5	一部家庭では、学生本人よりも家庭環境に問題があるケースが多いことが良く理解できた。学校と家庭との連携が教育には不可欠だが、こういった場合の難しさを痛感する。
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	5	定期的に学園新聞を卒業生宅へ送付したり、近況確認のはがきを送付している。加えて適時、電話及び来校にて卒業生の相談を受け付け、アフターフォローを実施。必要に応じて就職の際斡旋も生涯を通じて実施している。	今後も適切な対応を実施する。	5	問題はない。
	⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	教育環境については大多数を占める高校新卒の生徒をターゲットにしたものであるが、社会人経験の有る入学者も存在するため、個別の相談、フォローを、担任及び就職課から実施している。夜間課程などは、本校の立地を鑑み、ニーズが存在しないことから検討しない。	特になし	4	特に問題はない。
	⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	本校が授業の一環で運営する、学生運営カフェレストラン「カフェヒラオカ」にて、近隣高校の職業体験に協力している。また各高校の要請に応じる形で本校教員を出張授業に派遣したり、専門職としての仕事内容について各種講義を実施している。	今後も、広報課を通じ各学校への周知を図っていく。	4	問題はない。
	⑪ 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	3	学びなおしの場として、本校図書館を卒業生に対して開放している。所謂、第二新卒として、再就職の相談に来校したが、スキル・経験が不足している者を、学校教員見習いである副手として雇用し、経験を積ませた後、就職をあっせんしたケースも複数あり。	業界との連携という点で、出来ることがないか、検討を進める。	3	コロナの影響故やむを得ないが、業界との連携という点が弱感じる。
教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	1人1台の実習台、運動場や体育館、280インチの師範用モニター、3万冊以上の専門図書を有する図書館など全国的に見ても稀な施設設備を有している。平成元年の小郡キャンパス移転以来、平均して4年に1度、校舎を新築しており、細かい施設改装や設備更新はほぼ毎年実施して、常に生徒の学習環境の向上を図っている。	今後も設備新築、改装を適時実施していく。	5	問題はない。
	② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	5	学内に実践教育の場として、学生運営カフェレストラン「カフェヒラオカ」を2011年10月より開業。学内にいながら、調理製菓の現場を学習できる環境を整備している。インターンシップについても、希望先を学生全員に聞き取り、職員会議を経てインターン先を決定して、全国の事業所に依頼を行い、必修科目として実施している。海外についても、欧州を中心に低廉な価格で充実した内容の企画旅行を実施して、学生の教育に資するよう配慮している。	海外研修旅行の再開を検討	5	問題はない。
	③ 防災に対する体制は整備されているか	4	国の耐震、防火基準を十分に満たした、鉄筋コンクリート造で全校舎を整備しており、防火設備も完備している。定期的な防火設備メンテナンスを専門業者に委託しており、教員を防火責任者に任命し必要な講習会も受講させている。定期的に学生の避難訓練や、消火器訓練も実施している。	今後も安全性の向上に努める。	4	問題はない。

評価項目		自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
学生の受け入れ募集	① 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	5	広報課を設置し専任職員を置いている。九州全県、沖縄、山口を中心として、本学への入学ニーズが存在する高校全てを年複数回訪問し、進路指導教員や3年生担任を中心に本学の説明を実施し、必要な情報提供を適時行っている。さらには、WEB上では毎日更新の学園ブログや各SNS媒体を通じ学生生活の様子を配信し、30年以上発行している平岡学園ニュースを3か月に1回、各高校に送付して、情報提供を行っている。	特になし	5	問題はない。
	② 学生募集活動は、適正に行われているか	5	広報課を設置し専任職員を置いている。福岡県専修学校各種学校協会が、福岡県教育委員会等との協議で定めた学生募集の指針を遵守して、適正な学生募集を実施している。	特に高校生の学習環境に配慮して適切な募集を実施する。	5	問題はない。
	③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	5	学生要覧、ホームページ、SNS、本学広報課職員のガイダンス参加等を通じ、適正な情報提供を実施している。	適切に更新を行っていく。	5	問題はない。
	④ 学生納付金は妥当なものとなっているか	5	ウクライナ危機に端を発した水光熱、物価上昇に対応すべく、学費の適正価格設定を行っている。	物価増等の社会情勢変化に適時対応し、合理的な学費設定を実施する。	5	全国の同様の専門学校と比較しても低廉である。
財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	中長期的に、教育水準の向上・維持のため、定期的な施設設備更新を継続的に行いつつ、学校運営を行えるだけの財務基盤を有する	今後も安定性を最重視し、投機的な運用はせず、教育環境の充実を最優先にする。	5	投機性の高い資産運用を一切しておらず、好感が持てる。
	② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	有効かつ妥当である。	今後も安定性を最重視し、投機的な運用はせず、教育環境の充実を最優先にする。	5	問題はない。
	③ 財務について会計監査が適正に行われているか	5	公認会計士による財務資料作成と、常任監事による適正な監査がなされている	引き続き適正な運営を実施する。	5	定期的に公認会計士による監査と月例報告が提出されており、良好。さらには常任監事により、平素の資金動向も監査されており、公益法人として申し分ない。
	④ 財務情報公開の体制整備はできているか	5	ホームページを通じ、適正に公開を行っている	特になし	5	問題はない。
法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	問題はない。	特になし	5	問題はない。
	② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	学生の個人情報保護のため、必要な措置を適時実施している。	SNSの普及など、社会情勢が変化する中で、教員を中心に個人情報管理についての指導を徹底していく。	5	問題はない。
	③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	特に問題はない。	特になし	4	問題はない。
	④ 自己評価結果を公開しているか	5	適正に公開している。	特になし	5	問題はない。
社会貢献・地域	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	コロナの影響で今年度も実施できていない。	コロナワクチンの接種にも積極的に協力していく	3	自治体とも連携し、地域に開かれた学校を目指してほしい。
	② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	コロナの影響で要請が無く、今年度も実施できていない。	今後も要請に応じて協力していく	4	外部に出ての社会貢献活動も頑張してほしい。
	③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2	コロナの影響で今年度も実施できていない。	社会情勢を見て改善していく	3	やむを得ない部分である。今後を期待する。
国際交流	① 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	広報課を通じて、市内の日本語学校2校と連携し、語学学習後、専門技術の習得と日本での就労を希望する外国人を募集している。その他、県内大学の留学生を対象として、各種広報活動を実施し、留学生のニーズ掘り起こしを実施中である。	特になし	4	今後も取り組みを継続されたい。
	② 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	教務課を介して、適時関係諸機関への届け出、報告などを適正に実施している。	特になし	5	問題はない。
	③ 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	0	現状、留学生が学内に存在しないため、将来的に整備を見据えて準備を行う。	特になし	0	募集活動を頑張してほしい。
	④ 学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	卒業証明書、成績証明書について、英語での発行を実施している。	多言語への対応、GPA表記への対応を検討。	3	現状に満足せず、より分かりやすい成績評価を。